

君津市立久留里中学校

久留里の自然を考えるNatureプロジェクト

地域全体を巻き込んだ活動

房総半島のほぼ中央、環境省「平成の名水百選」にも選ばれた水の里に立地する君津市立久留里中学校では、2018年度から「久留里の自然を考える Nature プロジェクト」を開始。千葉県の絶滅危惧種ヒメコマツを保護する「ヒメコマツ保護プロジェクト」、野生メダカの繁殖や環境 DNA 技術による魚類の調査「『青葉メダカ』プロジェクト」、野菜の栽培や DNA レベルの実験を通じた「『食・農』プロジェクト」の3つのテーマを中心に活動を続けてきた。

豊かな自然を活かした学び

担当した小川博久前校長（現・君津市立北子安小学校校長）は「身近にある豊かな自然を授業に活かしたいと考えました。活動を通して、生徒たちの自然への興味が広がり、主体的に身近な自然を探究しようとする姿勢が育っている」と語る。



遺伝子解析実験講座に参加し、修了証を手にする生徒たち



食農プロジェクトにおいてかずさDNA研究所の実験に参加する生徒



地域で開催された実践発表会



●実施担当

小川博久 前校長

●活動のモットー

自然とのふれあいはもちろん、実験や研究発表を体験させることが、生徒たちの学習意欲を高めることにつながると考えている。

学校概要



教育目標は「心豊かに、たくましく、自ら学ぶ生徒の育成」。2020年4月に近隣4校が統合されて上総小櫃中学校となる予定。

設立：1947年

生徒数：45人

所在地：千葉県君津市久留里474番地



ヒメコマツの接ぎ木が完了

専門家との交流が刺激に

同プロジェクトは久留里中学単体ではなく、隣接する市立久留里小学校、近隣の千葉県立君津青葉高等学校と連携して行われている。これにより、小学生児童一人一人がダイコンを育て、君津青葉高校生活・福祉系列の生徒がレシピを教えて各家庭で料理をしてもらうなど、児童・生徒のみならず地域全体を巻き込んだ活動に発展してきた。

また、児童を含む活動ではあるものの、専門の研究者から DNA 抽出や遺伝子解析実験を学ぶなど研究は本格的だ。この点に関して小川校長は「特に中学生には、専門家と接することがよい刺激になっています。ほめられたりアドバイスをもらうことでより研究に対する意欲が高まる好循環が生まれています」という。さらに、学会での研究発表を経験したことで生徒たちは、次第に自信を持つようになり、「地域の自然をさらに探究していきたいという気運が高まっている」という。（令和元年（2019）度プログラム助成）

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索